

令和2年度

学生によるオレンジリボン運動

目白大学 実施報告書



実施主体 宇野ゼミ「オレンジャー」

実施内容 Twitter を使用した啓発活動

①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待についての基礎的な内容を学び、理解を深めた。
- ・過去のオレンジリボン運動活動の資料を参照し、どうすれば今後の活動がより良くなるのかを学び考えた。
- ・Twitter を運営するにあたっての注意点を、昨年度作成した「Twitter による児童虐待予防啓発運動ガイドライン」をもとに話し合った。
- ・他団体と協力して Twitter を使用した啓発活動を行うため、行動計画書を作成した。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

Twitter にて、自分たちの活動を報告する「活動ツイート」、児童虐待に関するニュースなどを発信する「不定期ツイート」、季節やトレンドを意識して取り上げた「定期ツイート」を行った。

児童虐待防止推進月間である 11 月は 1 か月間、オレンジリボン運動を行っている 7 団体と協力し、「ウィズコロナ社会における Twitter を用いた啓発活動」を行った。オレンジャーのアカウントでは、参加団体共通のオリジナルハッシュタグである「#オレンジリボンでつながろう」をつけて、児童虐待の定義、189 の紹介や相談機関の紹介など、計 36 ツイートを行った。また、参加団体と Twitter アカウントを相互フォローし、ツイートをいいね・リツイートし合うことで、お互いのフォロワーにより多くの情報を発信できるようにした。

③オレンジリボン運動を終えて…

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により例年のような活動の実施が困難だった。しかし、「ウィズコロナ社会における Twitter を用いた啓発活動」を行ったことにより、変わらず多くの方に児童虐待に関する情報を届けることができたと考える。

今後も、新型コロナウイルスの影響により例年通りの活動ができないことが想定される。その都度、私たちができることはなにかを考え、児童虐待防止の輪を広げて行きたい。

写真



【目白大学】 <https://www.mejiro.ac.jp/>

【目白大学 ぴよんぴよん】 https://twitter.com/oranger_mejiro